

1 日時 ○年○月○日 (○) ○校時

2 学年 第2学年○組

3 題材名 「何色が好き」

4 本時のねらい

○ 色の学習を通して、固定的な考え方にとらわれず、自分が身に付けたいもの、自分が好きだと思うものに気付くことができるようにする。

○ 人には、同じ部分や違う部分があることに気づき、一人一人の多様な個性を認め合うことができるようにする。

5 準備物

・ランドセルの絵 ・ワークシート

6 本時の展開

	主な学習活動	主な発問と予想される児童の反応 (○発問 ◎中心発問 ◇指示)	指導上の留意点・評価
導入 (5分)	1 ランドセルの色について話し合う。	<p>○ 何色が好きですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑色 ・黄色 <p>○ 二人を見て、どう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何かへん。 ・女の子はやっぱり赤色。 ・男の子が、赤はおかしい。 <p>○ みんなのランドセルは何色かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしはローズピンク。 ・ぼくは黒。 ・赤と黒ばかり。 <p>○ 女の子(男の子)はいろんな色があるのに、どうして赤(黒)になったの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女の子はみんな赤だから。 ・お兄ちゃんも黒だから。 ・おばあちゃんが買ってくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒いランドセルを背負った女の子と、赤いランドセルを背負った男の子を見て話し合う。 ・ロッカーのランドセルの色を見比べることにより、男女が色で区別されていることに気付くことができるようにする。
展開 1 (15分)	2 他に男女で色分けされているものについて考える。	<p>○ 他にも男の人と女の人とを色で分けているものがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの目印 ・上靴のゴムの色 	<ul style="list-style-type: none"> ・可能なものはその場で確かめるようにする。
	3 バックに好きな色を塗る。	<p>○ 今日はバッグを好きな色でぬろうと思います。自分の好きな色のクレヨン(色鉛筆)を選んで塗りましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柄やキャラクターにこだわって描かないように指導する。

<p>展開2 (15分)</p>	<p>4 選んだ色の訳を交流する。</p> <p>5 ゲストティーチャーのお話を聞く。</p>	<p>○塗ったバックを黒板に貼る。</p> <p>○ 選んだわけを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黄色です。明るい色だから。 ・水色。さわやかだから。 ・赤です。とても強そうな色です。 <p>○ みんなそれぞれに自分の好きな色があるのですね。すばらしいね。</p> <p>○ みんなの作品を見てどう思いましたか。</p> <p>◎ 自分の絵と友だちの絵を比べて気づいたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな色があっっておもしろい。 ・好きな色は人によってちがう。 ・人とちがっていいんだ。 <p>○ 小学校の色にまつわる体験談を話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服や持ち物について。 (二人からのメッセージ) ・ひとりひとりがたからもの ・自分と友だちの「すき」をたいせつにする。 	<p>・ここでは、自分の理由が言えればよい。</p>  <p>☆自分と友だちには同じ部分や違う部分があることに気づいている。 (活動の様子や発言)</p> <p>・ゲストティーチャーの話聞くことで、好きなものの多様性だけでなく、性の多様性や生き方の多様性についても触れられるようにする。</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>6 授業を振り返る。</p>	<p>○ いろんな色のバックができたね。</p> <p>◎ 「男の子だから…」「女の子だから…」ではなくて、みんな自分の好きな色をえらべると楽しいね。</p> <p>○ 今日の授業を受けてわかったことや思ったことを教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人好きなものはちがう。 ・自分と友だちの隙を大切にしたい。 	<p>・自分や友だちと伝え合い、GTの話を通じて、互いの違いや個性を知り、多様性を認め合う態度を養う。</p> <p>・最初のランドセルの色は性別によって色が分かれていたけれど、自分のランドセルには両親や祖父母の期待や愛情がいっぱいつまっていることを忘れず、大切に使うようにさせたい。</p>
<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「男の子のいろ」「女の子のいろ」はきまっていない。 ・好きな色はひとりひとりちがう。 ・みんなじぶんの好きな色を自由にえらんでよい。 			